

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	2.「二宮ブランド」の開発と活性化
分野別方針	(3)漁業基盤の整備・維持管理の推進
実施計画事業	漁港整備事業(No.52)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	漁港整備事業	99.3%	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工リーフの検証を踏まえ陸域部の整備に向けた計画の策定</li> <li>人工リーフの定期的なモニタリング調査の実施</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	人工リーフの効果を実証することができたことや養浜工事により砂浜の安定的な回復に向けた取り組みを実施することができた。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	今後、漁港区域内の陸域部の測量を実施した上で、整備計画を策定していく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	漁港整備事業は、漁港環境と海岸保全を図るうえで、事業継続する必要がある。		